

巨摩高校
エボリューション

校長 輿水秀志

九月も下旬となり、やっと夏の暑さが去っていった感じです。暑さ寒さも彼岸までという、ことわざがありますが、毎年その言葉どおりになるので、昔の人の経験に裏打ちされた言葉の正確さに今年も驚いております。

さて、本校も夏季休業が明け、一ヶ月が経過しました。勉学の秋、読書の秋、スポーツの秋、芸術の秋と言われますが、三年生は各々が進路実現に向け、あらゆる場面で真剣に取り組んでいる様子です。一年生、二年生も勉学に部活動に生徒会活動に懸命に励んでいる姿が見られ、巨摩高校生の熱気あふれる活動がいよいよ軌道に乗ってきたという感じでとてもうれしく思います。また、音楽室からは、アメイジング・グレイスなどの美しい歌声や演奏が聞こえてきたり、図書館では読書に親しむ生徒の姿が増えてきたりして、秋らしい好季節への変化を感じはじめております。

私は、年度当初「巨摩高エボリューション」というキャッチフレーズを掲げ、校訓「進修実践」のための4つの実践目標「文武両道」「質実剛健」「自学自考」「積極果敢」と今年度の本校の最重要目標「生徒一人ひとりの進路実現を可能にする確かな学力の向上」を示し、機会があるたびに説明してまいりました。そしてこの大きな目標達成のために、全校で地道な努力を継続して

いるところです。「巨摩高エボリューション」につきましては、廊下で行き会う何人かの生徒から「校長先生「巨摩高エボリューション」ですよね。」などと言われ、「このキャッチフレーズの浸透の深さに思わずうれしくなりました。」

「巨摩高エボリューション」のもと、生徒一人ひとりが総合的な人間力を身につけた進学校づくりを目指して、教師、生徒が一丸となり、また保護者や同窓会、中学校や地域の皆様のご理解とお力添えをいただく中で、皆様からより愛され、信頼される巨摩高校として、進化発展していくために尽力していきますので、今後ともよろしくお願い申し上げます。

ホッケー日本代表 千葉香織選手
母校の想いと共に北京へ。

01

世界へ
羽ばたいた
巨摩高OG

本校卒業生 千葉香織選手の北京オリンピック壮行激励会が行われました。ホッケー日本代表の千葉香織選手(本校第51回卒)の北京オリンピック壮行会が、7月22日、本校体育館で行われました。千葉選手は母校の思い出と、本大会への決意を力強く語ってくれました。その際、愛用のスティックを寄贈していただきました。本大会での活躍は、新聞・テレビの報道の通りです。

The way to the world from Koma High School.



KOMA-KOU no NATSU

02

今年も熱かった!! 今年もがんばった!!

グラウンドでも、応援席でも、力の限り夢を追いかけた。巨摩高生としての誇りを胸に、全国の舞台で戦った。観て、触れて、理科を学ぶ楽しみを感じた。

自然科学教室 & サイエンス講座 & 原子力館見学。

理科コースでは、夏季休業を利用して様々な催しが実施されました。7月31日には理科コース2年の生物選択者を対象に、自然科学教室が行われ、櫛形山の水系で水棲生物の採集、観察を行いました。8月11・12日には、芝浦工業大学の幡野明彦先生を講師に、理科コース1年生を対象にサイエンス講座が行われ、原材料から発光物質ルミノールを合成し、実際に発光させる実験を行いました。8月22日には理科コース1・2年と、普通コース1・2年の物理選択者を対象にエネルギー教育推進事業として、静岡県の浜岡原子力発電所を見学しました。

理科コース主任の鷹野貴彦先生は、「これらの経験を通して、理科を学ぶ楽しみを感じ、身近なものにも科学的な見方ができるようになったのではないのでしょうか。貴重な体験だったと思います。」と語ってくれました。



夏の甲子園 県予選 & 全国高校総体。

今年も猛暑の続いた夏でしたが、暑さに負けず、各大会にがんばりました。第90回全国高校野球山梨県予選、巨摩高は2回戦で山梨高校に8-4と快勝。3回戦では強豪甲府工業に4-5と惜敗しました。

埼玉県で行われた全国高校総体では、7月29日の弓道女子個人で相原芙由美さんが出場、4射3中で決勝トーナメントには進出できませんでした。

8月3日に行われたホッケー女子2回戦では、岐阜各務野高校に力及ばず、0-6で敗れました。同日、自転車1000メートルタイムトライアルに出場した新井偉太郎君は38位でした。

